

- 放射線量の測定結果 ……2・3面
- 放射線対策に関するこれまでの主な取り組み ……2・3面
- 現在の対応状況 ……2・3面
- 市民講座「放射線が人体に及ぼす影響」で皆さんから寄せられた質問 ……4面

2011年 11月26日(土) 放射線対策特別号
(平成23年)

広報いちかわは新聞折り込みでお届けするほか、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。

福島第一原発による放射線問題

新設部署でより効率的に対応

東日本大震災は、私たちの生活に今も大きな影響を及ぼしています。福島第一原子力発電所の事故による放射線問題もその一つです。市は、これを安全安心な暮らしを守るため最優先に取り組みべき問題として捉え、震災直後に設置した災害対策本部や危機管理課が中心となって対応いたしました。その後、総合的な対応を図るため放射能汚染対策検討会を設置し

て取り組んできましたが、より効率的な成果を目指し、専門部署「放射能対策担当室」を新設しました。また、9月に定めた「放射線量低減のための当面の取り組み方針」については、新たな情報を基に見直しを行い改訂しました。本特別号では、市内の放射線量の測定値などの情報をまとめてお知らせします。

☎7040007 放射能対策担当室



じゆん菜池緑地(写真)、里見公園、小塚山公園で10月29日、地元自治会や市民活動団体など総勢371人の参加により実施した公園クリーンアップ

「放射線量低減の取り組みに係る基本方針」を改訂

11月4日、市はこれまでの基本方針を国の放射線対応への動向や市施設の放射線量の状況などを勘案して見直しを行い、1年後を目途に、追加被ばく線量を1mSv(ミリシーベルト)/年以下にすることを旨として「今後の取り組み」をつぎのとおり訂正し、積極的に年間追加被ばく線量の低減対策に取り組むこととしました。

- ①空間放射線量が0.23μSv(マイクロシーベルト)/時以上(地表面から50cm又は1mの高さ)となる市の施設については、優先的に低減対策に取り組みます。
- ②空間放射線量が0.19μSv/時以上、0.23μSv/時未満(地表面から50cm又は1mの高さ)となる市の施設については、局所で比較的高い線量を示すおそれのある箇所の低減対策に取り組みます。
- ③上記の取り組みに加え、引き続き市内の空間放射線量の調査を行っていきます。

なお、市内の国、県などが管理する公的施設や私立の学校、幼稚園、保育園などについては、「市川市の放射線量低減の取り組みに係る基本方針」に沿った取り組みを行うよう要請するとともに、低減対策に関する相談に応じていきます。

また、低減への取り組み内容についても、雨樋下等の土壌の除去が追加され、さらに、北部地区から順次、自治会への簡易測定器の貸し出しをすることになりました。

【低減対策を行う目安値】0.23μSv/時以上(地表面から50cm又は1mの高さ)

◆目安値の変更について

当初は、低減対策を行う目安値を設定するに当たり、自然放射線量を実測値から判断した0.07μSv/時とし、それに追加被ばく線量0.19μSv/時を加え、0.26μSv/時を目安値として設定しました。しかし、今回、市の施設における日常管理の強化など、これまでの低減に向けた取り組みにより放射線量が徐々に低くなってきていること、また、国が除染に係る自然放射線量を一律0.04μSv/時として計算することとしたことから、低減対策を行う目安値を0.23μSv/時に変更しました。

◆算定根拠

追加被ばく線量(1mSv/年)に自然放射線量を加えた算定値
算定式: 0.19μSv/時(A)+0.04μSv/時(B)=0.23μSv/時

(A)追加被ばく線量の時間値への換算

1mSv/年→0.19μSv/時
※1日(24時間)の生活で、屋外で8時間、屋内で16時間を過ごす
※屋内における放射線量は、屋外の数値に0.4を乗じた値

(B)自然放射線量

- ①0.07μSv/時の考え方
放射線医学総合研究所における過去約7年間の測定値0.04~0.1μSv/時の平均値
- ②0.04μSv/時の考え方(原子力安全研究協会「生活環境放射線」平成4年)
※自然界にもともと存在した、大地からの放射線は0.04μSv/時

情報一元化と計画立案担う「放射能対策担当室」を設置

市民のみなさまへ

東日本大震災の発生から8カ月が過ぎ、東北地方の被災地では復旧・復興に向けた動きもようやく始まりました。市の施設では、液状化被害などの復旧工事がこれまで進められ、年内には概ね工事を終える予定となっています。しかし、一方で、東京電力福島第一原子力発電所の事故で放出された放射性物質による影響が国内各地で発生しています。

市ではこれまで、空間放射線量の測定を定点のほか、学校・幼稚園・保育園・公園などで行うとともに、学校給食食材や市内農産物の放射性物質の検査などを行ってまいりました。また、「市川市の放射線量低減の取り組みに係る基本方針」を策定し、1年後を目途に、追加被ばく線量を年間1ミリシーベルトにする低減の取り組みも行うてきました。そして今回、国が新しい方針を定めたことを受け、市は低減を行う目安を更に低く設定し、特に、子どもたちが長い時間を過ごす学校や幼稚園、保育園などで目安を超える場合には、優先的に低減対策に取り組むこととしました。

また併せて、新たに「放射能対策担当室」を設置し、情報の一元化と放射線量低減策等の計画立案等を行うことで、放射能による影響への不安を少しでも減らしていきます。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、ご家庭で出る放射線量

低減策についてのご協力をお願いいたします。



市川市長 大久保 博

現在の対応状況

放射線に関する対応のうち、主なものの概要をお知らせします。

大気中の放射線量 「環境モニタリングポストの設置」

現在、国の環境モニタリングポストは県内1カ所、市原市のみの設置でしたが、国の第二次補正予算で、新たに6カ所が増設されることとなりました。葛南地域では、市川市の要望もあり、大柏小学校への設置が予定されています。来年3月までに工事を終え、4月から測定を行って結果が公表される予定です。

☎320-3117環境保全課

学校などでの対応 「環境整備と給食食材放射線物質検査」

子どもたちの年間被ばく線量を減らすため、日常の環境整備を充実させ、側溝の清掃、草刈り、砂場の砂補充などの作業に取り組んでいます。今後も、必要に応じ保護者の協力を得ながら、集水ますの清掃や除草作業を進めてまいります。また、給食食材放射線物質検査(モニタリング検査)を行い、食材発注の参考としています。

☎334-1643保健体育課

農政「市内農産物を独自検査」

農産物の放射性物質検査は、県が市町村単位で順にモニタリング検査を行っています。これまでの結果、市川市はホウレンソウや梨など7品目において国の暫定規制値を下回っています。また、市独自の取り組みとして、国の交付金事業を活用して放射性物質の簡易検査機器を整備し、学校へ提供される給食食材など、市内農産物の検査を行っています。市が農産物の放射性物質をきめ細かに確認することにより、風評被害の防止と消費者の不安解消に努めています。

☎704-4132農政課

商工振興「被災企業対象に融資制度」

市川市は、国が創設した東日本大震災復興保証制度が利用できる特定被災地域に指定されています。対象は、放射能事故での風評も含む直接・間接被害により、震災発生後の直近3カ月間の「売上高」または「販売数量」(建設業の場合は完成工事高または受注残高)が、前年同期に比べ10%以上減少していることなどの要件に当てはまる中小企業・個人事業者です。申請に基づいて市が認定を行い、金融機関を通じて千葉県信用保証協会が取り扱う保証制度の申し込みができます。

☎334-1341商工振興課

水道「定期的に水質検査」

県水道局で定期的に水質検査をしています。3月及び4月上旬には放射性物質が検出されておりましたが、4月中旬以降は検出されておられません。

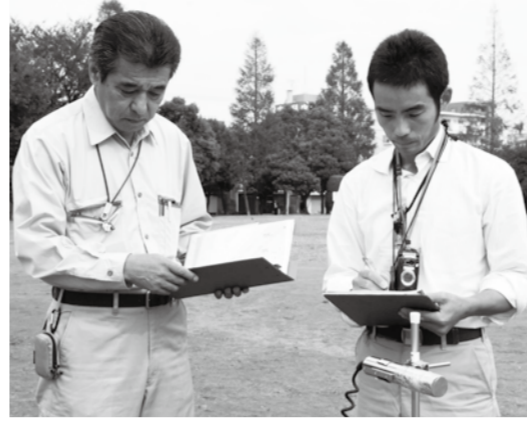
☎043-211-8673 県水道局浄水課

放射線量の測定結果

市が行っている放射線量の測定結果です。当初は、簡易式の測定器(RDS-30[MIRION Technologies社製])を用いていましたが、7月27日よりシンチレーション式サーベイメータ(TCS-172B[日立アロカメディカル社製])を導入し、測定しています。ここでは、11月21日現在で最新のデータを基に主な施設の空間放射線量を掲載しました。(環境保全課)

■測定単位は、マイクロシーベルト毎時■

市ホームページでは、農産物や主要な公園などを含めたより詳細な測定データをご覧いただけます



駅前公園での定点調査

定点調査

定点調査は、6月3日から市内6地点を原則して週1回行っています。ここでは、簡易式測定器による当初の調査期間における変化と県内同様の測定器を導入した直後と直近5回分の結果をお知らせします。

所在地	じゅん菜池緑地		姥山貝塚公園		大洲防災公園		市役所分庁舎		原木公園		駅前公園	
	中国分4-27	柏井町1-1235	大洲1-18	大洲1-18	南八幡2-18-9	原木2486-3	湊新田2-4					
地表面の状況	アスファルト		草地		土(砂混じり)		コンクリート		芝生		土(砂混じり)	
測定高さ	100cm	50cm	100cm	50cm	100cm	50cm	100cm	50cm	100cm	50cm	100cm	50cm
6/3	0.37	0.34	0.25	0.25	0.24	0.22	0.22	0.20	0.26	0.26	0.15	0.13
7/20	0.29	0.37	0.28	0.31	0.22	0.22	0.20	0.17	0.25	0.23	0.17	0.13
7/27	0.23	0.23	0.21	0.22	0.19	0.20	0.12	0.15	0.17	0.19	0.10	0.09
10/19	0.23	0.23	0.20	0.23	0.16	0.17	0.13	0.14	0.16	0.18	0.09	0.09
10/26	0.22	0.23	0.20	0.21	0.16	0.16	0.13	0.16	0.16	0.16	0.09	0.09
11/2	0.22	0.23	0.20	0.21	0.16	0.17	0.13	0.13	0.16	0.17	0.09	0.09
11/9	0.22	0.23	0.20	0.21	0.16	0.18	0.12	0.14	0.16	0.17	0.10	0.10
11/16	0.21	0.21	0.20	0.21	0.16	0.16	0.13	0.14	0.16	0.16	0.10	0.09

小・中学校等調査

測定地点	住所	校庭または園庭		測定地点	住所	校庭または園庭			
		測定日	測定高さ			測定日	測定高さ		
		100cm	50cm			100cm	50cm		
大町小学校	大町84-10	11/18	0.19	0.19	大和田小学校	大和田1-1-3	11/10	0.17	0.19
福越小学校	福越町518-2	11/15	0.19	0.19	平田小学校	平田3-28-1	11/18	0.12	0.13
中国分小学校	中国分1-22-1	11/14	0.16	0.17	宮田小学校	新田4-8-15	11/18	0.15	0.16
国府台小学校	国府台5-25-4	11/14	0.15	0.15	大洲中学校	大洲4-21-5	11/18	0.19	0.19
第五中学校	大野町3-1993	10/7	0.15	0.15	大洲小学校	大洲4-18-1	11/18	0.16	0.17
大柏小学校	大野町2-1877	10/7	0.15	0.16	第八中学校	大和田4-9-1	11/18	0.16	0.18
東国分中学校	東国分3-5-1	11/15	0.17	0.17	鶴指小学校	大和田4-11-1	11/18	0.17	0.18
曾谷小学校	曾谷7-18-1	11/15	0.14	0.15	稲荷木小学校	稲荷木1-14-1	11/4	0.11	0.11
国分小学校	東国分2-4-1	11/14	0.16	0.17	第六中学校	鬼高3-16-1	11/18	0.14	0.15
第一中学校	国府台2-7-1	11/14	0.18	0.19	信篤小学校	原木2-16-1	11/4	0.13	0.13
大野小学校	南大野1-42-1	11/18	0.16	0.16	高谷中学校	高谷1627-4	11/4	0.12	0.12
柏井小学校	柏井町1-1149-1	11/18	0.17	0.17	二俣小学校	二俣678	11/4	0.13	0.14
下貝塚中学校	下貝塚3-13-1	10/18	0.11	0.11	妙典小学校	妙典2-14-2	11/17	0.10	0.10
宮久保小学校	宮久保5-7-1	10/18	0.13	0.13	妙典中学校	妙典5-22-1	11/17	0.13	0.14
第三中学校	曾谷3-2-1	11/15	0.14	0.14	行徳小学校	富浜1-1-40	11/17	0.15	0.16
百合台小学校	曾谷6-10-1	11/1	0.14	0.15	第七中学校	末広1-1-48	11/8	0.13	0.13
第二中学校	須和田2-34-1	11/1	0.10	0.10	塩焼小学校	塩焼5-9-8	11/8	0.10	0.10
須和田の丘支援学校	須和田2-34-1	11/1	0.18	0.19	幸小学校	幸1-11-1	11/8	0.15	0.15
真間小学校	真間4-1-1	11/14	0.15	0.15	新浜小学校	行徳駅前4-5-1	11/8	0.15	0.16
菅野小学校	菅野6-14-1	11/14	0.15	0.15	南新浜小学校	新浜1-26-1	11/8	0.13	0.12
市川小学校	市川2-32-5	11/14	0.14	0.14	南行徳小学校	欠真間1-6-38	11/17	0.11	0.13
八幡小学校	八幡3-24-1	11/14	0.12	0.13	福栄中学校	福栄3-4-1	11/17	0.16	0.17
富貴島小学校	八幡6-10-11	11/15	0.14	0.15	福栄小学校	南行徳2-2-1	11/17	0.16	0.16
北方小学校	北方町4-1356-1	10/7	0.15	0.14	南行徳中学校	南行徳2-2-2	11/8	0.11	0.11
若宮小学校	若宮3-54-10	11/15	0.14	0.15	富美浜小学校	南行徳2-3-1	11/17	0.16	0.16
第四中学校	若宮3-54-10	11/15	0.10	0.10	新井小学校	新井1-18-13	11/17	0.12	0.13
中山小学校	中山1-1-5	11/15	0.15	0.16	塩浜中学校	塩浜4-6-1	11/8	0.13	0.12
鬼高小学校	鬼高2-13-5	11/4	0.12	0.13	塩浜小学校	塩浜4-5-1	11/8	0.13	0.13

*校庭の地表面は、大和田小学校のみ芝生

幼稚園等調査

測定地点	住所	校庭または園庭		測定地点	住所	校庭または園庭			
		測定日	測定高さ			測定日	測定高さ		
		100cm	50cm			100cm	50cm		
大町不二幼稚園	大町103	11/17	0.13	0.15	大野第二幼稚園	大野4-3-12	11/7	0.13	0.13
浄光寺幼稚園	大野町3-1917	11/17	0.14	0.16	市川聖マリア幼稚園	八幡3-19-12	11/18	0.15	0.15
わかたけ幼稚園	北方町4-1798	11/15	0.14	0.14	市川学園第一幼稚園	八幡5-1-10	11/15	0.12	0.12
築業根幼稚園	北方町4-2171	11/15	0.11	0.12	富貴島幼稚園	八幡6-12-12	11/18	0.16	0.17
国府台文化幼稚園	中国分3-6-24	11/17	0.18	0.21	日出学園幼稚園	菅野2-21-12	11/18	0.12	0.12
若宮幼稚園	若宮3-53-4	11/15	0.15	0.15	市川学園第二幼稚園	東菅野4-13-1	11/15	0.15	0.15
みどり幼稚園	中山3-10-4	11/15	0.10	0.10	白菊幼稚園	南八幡3-15-1	11/18	0.09	0.09
アイリス幼稚園	北方2-29-9	11/15	0.11	0.11	つし幼稚園	大和田3-3-3	11/18	0.17	0.17
アンデルセン幼稚園	堀之内1-9-17	11/17	0.18	0.19	鬼高幼稚園	鬼高3-14-18	11/17	0.11	0.12
いなほ幼稚園	国分3-4-12	9/15	0.11	0.10	稲荷木幼稚園	稲荷木1-14-1	11/7	0.14	0.16
三愛幼稚園	東国分1-20-12	11/15	0.11	0.11	ソフィア幼稚園	稲荷木3-22-5	11/14	0.13	0.13
国分幼稚園	曾谷5-32-18	11/17	0.09	0.10	原木幼稚園	原木1-8-1	11/14	0.13	0.13
百合台幼稚園	曾谷6-10-1	11/7	0.14	0.15	信篤幼稚園	高谷1-8-1	11/7	0.14	0.14
曾谷幼稚園	曾谷1-4-1	11/17	0.20	0.22	二俣幼稚園	二俣678	11/7	0.10	0.10
昭和学院幼稚園	宮久保1-3-8	11/18	0.20	0.21	塩焼幼稚園	塩焼5-9-1	11/7	0.15	0.15
宮久保幼稚園	宮久保6-2-2	11/15	0.08	0.08	塩焼幼稚園	行徳駅前3-12-14	11/14	0.12	0.12
須和田幼稚園	須和田1-20-3	11/18	0.14	0.15	新浜幼稚園	行徳駅前4-5-2	11/7	0.12	0.12
真間山幼稚園	真間4-9-1	11/17	0.08	0.09	南行徳幼稚園	欠真間1-6-15	11/7	0.12	0.14
自然幼稚園	市川1-24-21	11/7	0.16	0.18	和光幼稚園	相之川12-12-28	11/14	0.18	0.19
大洲幼稚園	大洲4-3-12	11/7	0.13	0.13	いずみ学院幼稚園	南行徳2-5-1	11/14	0.09	0.09
市川聖マリア幼稚園	八幡3-19-12	11/18	0.15	0.15	アース学園	幸2-12-22	11/14	0.14	0.13
市川学園第一幼稚園	八幡5-1-10	11/15	0.12	0.12	延命寺学園	新井1-9-2	11/14	0.08	0.08
富貴島幼稚園	八幡6-12-12	11/18	0.16	0.17	塩浜幼稚園	塩浜4-2-28-101	11/14	0.14	0.15
日出学園幼稚園	菅野2-21-12	11/18	0.12	0.12					

保育園調査

測定地点	住所	校庭または園庭		測定地点	住所	校庭または園庭			
		測定日	測定高さ			測定日	測定高さ		
		100cm	50cm			100cm	50cm		
花の子保育園	大野町3-1668-1	11/14	0.16	0.16	大和田保育園	大和田4-4-1	10/14	0.15	0.16
大野保育園	南大野2-4-5	9/12	0.15	0.14	鬼高保育園	鬼高1-11-20	9/12	0.15	0.17
柏井保育園	柏井町2-718-3	9/13	0.20	0.22	杉の木保育園	鬼高3-18-17	10/6	0.16	0.17
さかえ保育園	北国分1-12-23	10/14	0.11	0.10	東大和田保育園	東大和田2-6-2	10/6	0.15	0.17
風の谷保育園	北国分4-10-3	10/14	0.13	0.14	稲荷木保育園	稲荷木1-26-16	9/20	0.17	0.17
中国分保育園	中国分2-13-1	9/12	0.17	0.18	原木保育園	田尻5-15-9	9/20	0.11	0.11
つし保育園	東国分1-21-22	9/13	0.16	0.15	うみかぜ保育園	原木1-15-24	10/6	0.09	0.09
国府台保育園	国府台2-9-13	9/13	0.11	0.12	わたぐも保育園	原木2-10-13	10/6	0.11	0.12
まきば保育園	須和田1-29-15	10/14	0.11	0.13	あじさい保育園	妙典5-12-16	11/10	0.15	0.16
かいつか保育園	下貝塚3-9-3	10/14	0.12	0.12	妙典保育園	妙典6-2-45	10/20	0.10	0.09
百合台保育園	曾谷3-11-1	9/13	0.14	0.16	塩焼保育園	塩焼2-2-5	8/16	0.14	0.15
曾谷保育園	曾谷7-28-15	10/14	0.16	0.16	塩焼第二保育園	塩焼3-11-15	10/20	0.12	0.13
宮久保保育園	宮久保3-17-10	9/12	0.12	0.13	すえひろ保育園	末広1-1-48	11/10	0.12	0.13
本北方保育園	本北方2-40-23	9/12	0.15	0.16	行徳保育園	行徳駅前4-22-17	9/20	0.16	0.17
北方保育園	北方1-12-1	10/6	0.15	0.15	行徳第二保育園	行徳駅前4-26-10	9/20	0.15	0.16
若宮保育園	若宮3-7-6	10/6	0.13	0.14	香取保育園	香取2-6-25	10/20	0.14	0.16
菅野保育園	菅野4-12-16	10/14	0.11	0.12	仁保育園	南行徳1-10-5	8/18	0.15	0.17
富貴島保育園	八幡6-14-19	9/12	0.13	0.14	愛泉保育園	幸2-8-17	11/10	0.12	0.13
南行徳第二保育園	新田2-1-24	8/16	0.20	0.22	行徳おほの保育園	関ヶ島7-3	10/20	0.14	0.13
新田保育園	新田3-21-1	9/12	0.12	0.13	湊新田保育園	湊新田2-8-3	11/18	0.11	0.13
平田保育園	平田1-20-16	9/12	0.15	0.17	湊新田保育園	欠真間2-25-8	11/10	0.12	0.14
市川保育園	市川2-24-12	10/14	0.14	0.14	太陽の子保育園	相之川3-10-15	11/10	0.11	0.11
さくらんぼ保育園	市川南2-6-22	9/13	0.11	0.13	広尾みらい保育園	広尾2-3-1	9/20	0.14	0.16
市川南保育園	市川南4-1-15	9/13	0.16	0.16	新井保育園	新井2-1-21	9/20	0.18	0.19
大洲保育園	大洲2-3-8	9/12	0.16	0.18	塩浜保育園	塩浜4-2-10-101	9/20	0.13	0.13

*園庭の地表面は、新井保育園と広尾みらい保育園はゴムチップ、仁保育園は人工芝。

その他施設調査

測定地点	住所	測定日	地表面の状況	測定高さ	
				100cm	50cm
動植物園(入口)	大町284	10/20	インターロッキング	0.19	0.21
スポーツセンター陸上競技場	国府台1-6-4	10/12	人工芝	0.25	0.28
菅野終末処理場	東菅野2-23-1	10/19	アスファルト	0.19	0.20

放射線対策に関するこれまでの主な取り組み

- 3月 24日 私立保育園等に備蓄飲料水を配布。3月22日に金町浄水場で放射性ヨウ素131が210ベクレル/kg検出されたことから、備蓄の不足する私立保育園等の0歳児対象に公立保育園の備蓄飲料水を配布。
- 5月 20日

市民講座

「放射線が人体に及ぼす影響」で皆さんから寄せられた質問

放射線について正しい知識を持っていただくこと、8月と9月の2回、市は市民講座「放射線が人体に及ぼす影響」を開催しました。会場には、合わせて約360人の市民が来場し、放射線医学総合研究所から招いた環境防護研究チームのチームリーダーである久保田善久氏の講演に熱心に耳を傾けました。講師に対し寄せられた質問及びアンケートの回答は次のとおりです。



図表を多用し分かりやすく放射線の知識を伝えた久保田善久氏の講演

第1回講座での質問事項

Q1 家の周りの数値が高いのですが、子どもに外遊びをさせていいのですか(公園の砂場遊びなど)。

A1 家の周りの空間線量が分かっているからといって、普通の生活をした場合に二年間にどのくらいの外部被ばくを受けるかを概算してみると良いでしょう。この線量以下では安全、以上なら危険というような基準となる値はありませんが、ICRP(国際放射線防護委員会)が一般公衆の被ばく限度として定めている年間1mSv(ミリシーベルト)が目安となるでしょう。1mSvを超えるような状況でしたら何らかの対応を考えた方が良いと思います。また、一般的に線量が高いとされる水路のます、排水溝、雨樋のますなどに必要以上に近寄らないこと、小さなお子さんが遊びで土や砂を口にすることは避けるべきでしょう。

Q2 他の地域より数値が高い場所に住んでいるため、除染の方法を教えてください。

A2 現在放射性物質のほとんど全てはセシウムで、地面の土やコンクリート、アスファルト、樹木の枝葉などに付着しています。セシウムは特に土の粘土質と強く結合する性質があり、土と一緒動いて水路のます、排水溝、雨樋のますなどに高濃度に蓄積することが知られています。除染の方法としては、セシウムが蓄積するこれらの場所にある泥を水で良く洗い流すこと、地面の表土の除去や天地替え、落ち葉の除去、樹木の枝葉の刈り込みなどが有効と思われる。

家庭でもできる低減対策



一般的な知識として、排水ますの底や雨どいの出口付近の土など、水が集まる場所に放射線の高い測定値が示されることが知られています。これらの場所は、早めに対策を講ずることで放射線が蓄積されることを防ぐことができます。ここでは、家庭できる低減対策の代表的な方法を紹介いたします。

1. 庭木の枝切りや落ち葉、雑草を除去し、集めて可燃ごみとして出す。
2. 雨どいの出口付近の表土の天地替えを行う。天地替えの方法は①～③を参考にしてください。
①表土を5センチ以上取り除き、庭の一角に保管する。
②さらに5センチ以上土を取り、別の場所に保管する。
③最初に取り除いた土を埋め戻し、その上に②で取った土をかぶせる。
3. 雨水ますの底の汚泥を取って袋に入れ、庭の一角に30センチ程度の穴を掘って埋める。

※作業はマスクと手袋を着用し、作業終了後、「うがい」と「石鹸での手洗い」を行ってください。また、使用した靴と作業着の土やほこりをよく落とすなどの注意をしてください。

Q3 今、私達にどのような危険があるのでしょうか。

A3 福島県の人達を含めて福島原発事故による健康影響で考えなければならぬ疾患は発がんだけですが、100mSvより少ない放射線量で発がんが増えるのかどうか残念ながら分かっていません。放射線による発がんリスクが大きい値なしの直線仮説(発がんリスクは放射線量がゼロから線量に比例して増加するという仮説)に立てば、市川市でも福島原発事故による発がんリスクはゼロではありませんが、環境中の他の発がん因子によるリスクと比較した場合、そのリスクは小さいと考えられます。

Q4 小学校の子どもがいますが、この子どもへの影響も教えてください。

A4 お子さん、特に乳幼児は放射線による発がんの感受性は大人より2〜3倍高いと言われています。これは発育中の子供の体には放射線によって多く存在する幹細胞(幹細胞)が割合として多く存在するからと考えられています。子どもの方が放射線の防護を厳しくする必要がありますが、年間の被ばく限度1mSvで子どもを含めた公衆が合理的に防護されるとICRPは考えています。

Q5 放射線をできるだけ浴びないような方法、身近な生活の中で気をつけなければいけない行動など、具体的にすぐ実行できるような身の守り方も教えてください。

A5 除染に関しては、質問Q2に対する答えと同じです。放射線を可能な限り浴びない方法としては、鉄筋コンクリートの高層建造物の高層階に住み、不必要な外出をしない、食べ物にはセシウム不検出

Q6 報道されている内容で、何が本当で何が虚偽なのかを知りたい。

A6 政府や東電からの情報発信が遅かったのは事実ですが、その内容の真偽については判断できません。部週刊誌やネット情報には明らかで誤った情報や読者をミスリードする記事が多いので、注意すべきです。

第2回講座での質問事項

Q7 海洋に放射線物質が大量に流れ込んだというニュースを見たが水産物は食べて大丈夫なのか？

A7 水産庁等の調査では今現在顕著に汚染された水産物は発見されてはいませんが、今後発見される可能性はあるので十分に注意し情報を取り入れていく必要はあります。

Q8 子どもと大人が同じ基準で良いのか？

A8 ICRPでは大人、子どもともに年間1mSv以内で被ばく線量を抑えれば健康被害リスクは非常に小さいと考えられています。しかし、小さいお子さんは大人と比較して放射線に対する感受性が高いことは事実ですから、被ばくに対して大人よりも注意を払うことは必要です。

Q9 胎児に対する放射線の影響は？また母乳を飲ませても大丈夫なのか？

A9 胎児であっても100mSv以下の被ばくであれば健康に影響はないと

えられています。現在、問題となっている放射性セシウムの場合、母乳を介して乳児に移行するレベルは低いので母乳を与えても乳児の健康上問題はありません。

第2回講座アンケートでの質問事項

Q10 スポーツをしている人は何か気をつけ方がいいか？

A10 特に注意しなくてはならないことはありません。しかし、放射線の被ばく線量を可能な限り少なくしたいと考えておられる方は比較的空間線量が高いことが分かっている公園や運動場の長時間の利用はしない方が良いでしょう。

Q11 これまでCT、X線などたくさん検査を受けているのでその影響は？

A11 X線CTやPET(陽電子放射線断層撮影)など放射線を利用した診断や治療による被ばくは平常時の公衆の被ばく線量限度(年間1mSv)に含めないことになっています。これは個人の健康にとって放射線を利用した診断や治療による利益が放射線被ばくのリスクよりも大きいと考えられるからです。しかし、頻繁な放射線診断や治療が放射線被ばくのリスクを高めることは事実ですから、今までの医療放射線による被ばく線量のある程度把握し、今後放射線を利用した診断や治療の際にはお医者さんに良く診断や治療の必要性について説明してもらうべきでしょう。現在、医療による放射線被ばく線量を個人ごとに管理するシステムはありませんが、今後そのようなシステムが開発されるはずですよ。

Q12 ネットでの情報が多すぎて何が正しいのかわからなくなりました。信頼度の高いサイトがありましたらご紹介ください。

A12 確かにネットにはありとあらゆる情報が氾濫しており、この情報は正しい、あの情報は間違っているといった指摘することは不可能です。手前味噌ですが、放射線関連の学会例えば日本保健物理学会、日本放射線影響学会などが開設しているホームページに掲載されている情報は科学的知見に基づいた情報を一般の方々に分かりやすく提供しています。

Q13 この放射線の影響(食品や汚染の強い場所)に近づかないなどについてどのくらいの注意を払う必要があるのでしょうか？

A13 外部被ばくに関しては市が年間1mSvの限度を設定し、対応しています。外部被ばく線量は今年多くても1mSv、2年経つと線量はほぼ半分に低下します。また、内部被ばくとして問題となる食品の汚染は流通段階で汚染検査が継続して実

施されているので大きな被ばく線量にはなりません。このような状況を鑑みると市川市で通常の生活をしていても今回の原発事故による放射線被ばくが大きな健康上のリスクになるとは考えられません。しかし、個人によって健康リスクに対する考え方は多様で、放射線の被ばく線量を可能な限り少なくしたいと考えておられる方にとっては注意すべき点はいくつかあります。外部被ばくを減らすためには比較的空間線量が高いことが分かっている場所に近づかないことや除染をする。空間線量は2年経つと自然に半減しますが、それ以降減少する速度は極めて緩慢になります。食品については可能な限り生産地の異なる多様な食材を使用することが必要となります。

Q14 食品によって放射性物質を吸着排出を促すものがあれば知りたい。

A14 放射性物質を吸着、排出を促進する物質の候補として食品中のいくつかの成分が研究されていますが、実用化されているもの、あるいは近いうちに実用化されるようなものはありません。放射性セシウムの場合、大体100日で半分が自然に体外に排出されますから、正体の知らないものを摂取して放射線を排出することを考えるよりも放射性物質で汚染したものを摂取しない努力の方が大事です。

Q15 土の中には浸み込んでいかないのですか？

A15 放射性セシウムの場合、土壌の成分と強く結合するので、地面の表層部分から深部に移行する速度は非常に遅いと考えられています。チェルノブイリ原発事故から25年が経過しましたが、事故で地表に降り積もった放射性セシウムのほとんどは、いまだに地表から数センチ以内

Q16 セシウムは土壌に多く含まれているとのことでしたが、ホットスポットなどで地下に吸収された雨水は後に地下水に達した場合、何年後か分かりませんが地下水にセシウムが含まれている可能性はありますか？

A16 放射性セシウムの場合、土壌の成分と強く結合するので、地面の表層部分から深部に移行する速度は非常に遅いと考えられています。しかし、放射性セシウムが地下水に全く移行しないとも言えません。質問の通り、地表より浸透した水は数十年から数百年をかけて地下水脈を移動し、また人に利用されています。地上に降り積もったセシウムがどの程度地下水を汚染するかは土壌の成分や地下水脈の大きさや構造に大きく依存するはずで概に言えません。